

九条北小学校 校長室だより

NO.21 令和3年9月21日



緊急事態宣言が9月末まで延長され、予定していた学校行事の変更が余儀なくされました。保護者の皆様には、様々な予定の変更へのご協力ありがとうございます。西区内の多くの学校が臨時休業措置をとっている中、本校は、今のところ休業措置をとることなく学校生活を送ることができています。毎日の感染症対策・健康観察等へのご協力、誠にありがとうございます。今後も、感染症対策の徹底に努めてまいります。

ここで、**保護者の皆様へお願い**があります。過日、プリントにてお知らせしていますが、万一、陽性者が出た場合に、**保健所の疫学調査**を迅速にするために、学校より聞き取りをさせていただき、保健所へその内容を提出させていただく形になりました。その際には、放課後の時間の過ごし方についても聞き取りをさせていただくようになっています。児童が、「どこで」「だれと」「どのように過ごしていた」のか、その時に「マスクの着用」をしていたのか等が聞き取りの内容にあります。**学校終業後や休日のお子様の動向について把握していただきますようお願いいたします。**

★ 通学路の安全確認のため、集団下校を実施します！ ★

先日、お知らせしていますが、明日9月22日（水）に「集団下校」を実施します。担当の教員が登校班とともに集合場所まで一緒に下校しながら、通学路の安全確認をします。いきいき等に参加する場合は、連絡帳にてお知らせください。



★ 「敬老の日」に感謝の気持ちを伝えよう！ ★

昨日9月20日（月・祝）は「敬老の日」でした。

「敬老の日」の始まりは、兵庫県のある村で、1947年（昭和22年）9月15日に村主催の「敬老会」を開催したのが始まりであるとされています。これは、村長さんが「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という趣旨から開いたもので、日取りは農閑期（農作業が忙しくない時期）にあたり気候も良い9月中旬ということで決められたそうです。その後、「**多年にわたり(長い間)社会につくしてきた老人(ひと)を敬愛し(尊敬の気持ちと愛情をもって)、長寿(長生き)を祝う**」ことを目的として、昭和23年（1948年）に祝日法として制定されました。

実は、家族や身近な年長者を敬い、健康を願う日として、日本だけでなくアメリカやカナダ、中国、韓国などの国でも行われています。

さて、日本のお話に戻ります。敬老の日のお祝いでは、誰から誰にプレゼントをあげるということが決まっているものではありませんが、一般的には、孫から「おじいちゃん」「おばあちゃん」にプレゼントをあげることが多いようです。今からでも**「ありがとう」のこたばを贈ってはどうでしょうか。**また、手作りのプレゼントは、「一所懸命作ってくれた」という気持ちが伝わります。

おじいちゃんおばあちゃんが、ほっこりと嬉しい気持ちになるプレゼントを手作りしてみるのも、おすすめです。

